



第2回南三陸田んぼアートの様子（5月下旬撮影）最終紙面に関連記事掲載

● 農業委員会からのお知らせ ●

農業者年金受給者の皆さんへ

1 現況届の提出はされましたか？

毎年農業者年金基金より5月下旬に送付される現況届は6月中に農業委員会に提出することになっております。まだ若干提出されていない方がおりますので、早急に提出をお願いします！

改めて、農業委員会からも通知していますので確認願います。

2 各種手続きはお早めをお願いします！

農業者年金の各種手続きは速やかをお願いします。裁定請求、死亡届、住所変更等については、最寄りのJA農業者年金窓口をお願いします！

【問い合わせ】

・JA志津川支店 ☎46-2106 ・JA歌津支店 ☎36-2003 ・農業委員会 ☎46-1378



いもち病・斑点米カメムシ類の防除を徹底しましょう!

1 いもち病



葉いもちの病斑

いもち病の発生に好適な気象条件が続いた場合は、発生が広がる恐れがあります。ほ場をよく見回り、早期発見・早期防除に努めましょう。

- ・いもち病の感染には平均気温が20～25℃、曇りや雨の日が多いことが好適条件となります。これからは、穂いもちの発生も心配されます。天気予報や病害虫防除所が発表する情報を確認し、注意しましょう。



葉いもちの発生が認められた場合は、すでに周辺の株に感染している可能性があります。予防剤施用の有無に関わらず、周辺のほ場も含め直ちに茎葉散布剤による防除を実施してください。

2 斑点米カメムシ類

7月5日に病害虫防除所から注意報第2号「斑点米カメムシ類」が発表されました。斑点米カメムシ類(アカスジカスミカメ)の発生量は平年並みですが発生時期はやや早いと予想されています。

県内で発生がみられる斑点米カメムシ類



アカスジカスミカメ



アカヒゲホソドリカスミカメ



ムギカスミカメ



ホソハリカスミシ

- ・薬剤による防除は、「穂揃期(※1)とその7～10日後」の2回散布を行ってください。
- ・水田内雑草が多いほ場では、1回目の防除時期を穂揃期から「出穂始(※2)」に早めて下さい。



【斑点米カメムシ類1回目の防除適期について】

- 左の写真のように穂の先端が止葉葉鞘から出た状態の茎が、ほ場全体の5～10%程度の時期を「出穂始(※2)」
40～50%程度の時期を「出穂期」
80～90%程度の時期を「穂揃期(※1)」といいます。
- 「出穂始」は「穂揃期」の約5～6日前です(※2)。
- 一般的には、穂が完全に伸びきった時期を「穂揃期」と呼んでいることが多いようですが、正しい時期を理解して適期防除を心がけてください(※1)。

防除のご相談は、下記の関係機関にお問い合わせください。

- 宮城県気仙沼農業改良普及センター ☎0226-25-8069
- J A 南三陸 営農販売課 ☎0226-47-4585 志津川営農センター ☎0226-46-3680
- 宮城県農業共済組合迫支所農産園芸課 ☎0220-22-8411

農業者年金に加入しましょう! 農業者年金は保険料の額を自由に決められる年金です。
詳しくは、農業委員会事務局へお問い合わせ下さい。【☎ 0226-46-1378 内線412】

新体制となりました！

南三陸町農業委員会委員は、7月20日付けで新たな体制となりスタートしました。
農業委員9名、新設の農地利用最適化推進委員4名、計13名となりましたので、
ご紹介します。（任期は平成33年7月19日まで）

【職務代理】



阿部 博之
(7区)



元木 幸雄
(1区)

【最適化推進委員】



西城 光之
(3区)

【会 長】



遠藤 重幸
(大久保)

【最適化推進委員】



安部三代治
(細浦)



及川 博喜
(田尻畑)

志津川地区



阿部 長喜
(泊浜)



及川 文枝
(港)



中島 綾子
(吉野沢)

【最適化推進委員】



千葉 善政
(中在)

入谷地区

戸倉地区

【最適化推進委員】



星 力
(西戸)



小山富士夫
(沖田)



阿部 俊幸
(西戸)



よろしくお願いします！



みんなで、読もう！ 全国農業新聞 発行日 毎週金曜日 購読料/1ヶ月700円（送料込）
お申し込み・お問い合わせは、南三陸町農業委員会事務局まで【☎ 0226-46-1378 内線412】

第2回 南三陸「田んぼアート」開催 ～復興田で廻館営農組合～

5月27日(日)廻館営農組合(西城善昭組合長)が実施主体となり、第2回南三陸「田んぼアート」が開催された。

晴れ渡る空のもと、観光協会の協力を得てこの日集まった参加者、関係スタッフは130名程になり、賑やかに田植え作業を行っていた。

昨年チャレンジした田んぼアートだが、強風などの影響もあり田んぼ1枚に描かれたたオクトパス君は残念な結果となってしまった。

さて、今年はどんな実りの秋になるのか順調な生育が期待される。

廻館営農組合は、志津川廻館地区の圃場整備により立ち上がった営農組合で、震災当時、瓦礫が流れ着き荒れ果てていた土地が少しずつ農地へ変わっていく様子を目の当たりにして、みどり豊かな農地に戻し、よりよい農業を目指そうとの想いと、ご支援頂いた数多くの皆さんに、あの時の感謝の気持ちを伝えたいという想いからこの田んぼアートを企画している。



田植えに取り組む参加者



参加者たちと記念撮影



生き物観察会の様子

地域連携型の総合学習に定着

～新童子下集落で田んぼの生き物観察会～

7月3日(火)中山間地域等直接支払事業に取り組む入谷地区の新童子下集落(阿部博之代表)では、事業の一環として毎年、地元入谷小学校3年生児童を対象に、田んぼの生き物観察会が開催された。

この観察会は、今年で13回目を数え入谷小学校も総合学習の時間として、当初より毎年参加しており、地域連携型の総合学習として定着している

編集後記

昨年と違い、梅雨明け連日の猛暑日、農家の皆さんは熱中症対策は万全ですか？

先日、100回目を迎える全国高等学校野球選手権記念宮城大会が初めて平成の森しおかぜ球場で開催され、地元志津川高校が岩ヶ崎高校と戦い見事初戦を突破しました。野球部OBの私も終盤ですが応援することが出来ました。大勢の地元の方々の声援を受け頑張る後輩たちが羨ましく思えた一戦でした。

今回の農業委員会だよりの編集委員は7月19日で任期満了を迎えました。これが最後の委員会だよりのとなります。3年間ありがとうございました。

編集委員

委員長	阿部博之(入)
委員	今野一男(戸)
	佐藤功一(歌)
	元木幸雄(入)
	及川文枝(歌)
	及川みよ子(志)
	渡邊重一(志)
	(順不同)